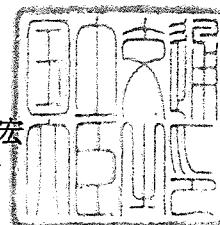


認定書

国住指第 2035 号
平成 25 年 11 月 21 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 根岸 修史 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-0720

2. 認定をした構造方法等の名称

ポリエチレン管／ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス・セメントモルタル／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ポリエチレン管／ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス・セメントモルタル／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項目		申請仕様
開口部	形状	円形(φ311mm以下)
	面積	0.076m ² 以下
占積率		69.6%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート 厚さ 100mm以上

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項目		申請仕様		
熱膨張性シート	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス		
	寸法	製品厚さ(1層あたりの厚さ)： 複層の場合 2.5(±0.25)mm以上 単層の場合 5.0(±0.50)mm以上 (総厚さ：5.0(±0.50)mm以上) 幅：80mm以上		
	形状	シート状(分割：あり又はなし)		
	使用方法	2周巻き(複層)又は1周巻き(単層)		
	基材	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布	
		厚さ	0.18(±0.06)mm	
	シート	材料	黒鉛含有エポキシ樹脂シート	
		厚さ	複層の場合 2.15(±0.11)mm以上 単層の場合 4.65(±0.36)mm以上	
		組成(質量%)	組成は、企業秘密とさせていただきます。	
	基材	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス	
厚さ		0.17(±0.08)mm		
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成(質量%)	普通ポルトランドセメント	25	
	砂		75	
使用量	(日本建築学会建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事に準拠) 隙間を密に充てん(充てん厚さ100mm以上)			

表3 申請仕様の配管の構成材料

項目	申請仕様	
給水管・排水管 (以下、配管と いう)	材料	水道配水用ポリエチレン管 (建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格に準拠：PWA001、PWA005)
	外径	φ216(±0.65)mm以下(呼び径200以下)
	厚さ	19.7(±2.2)mm以下

4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様	
粘着テープ (熱膨張性シート 固定用)	材料	あり又はなし 種類：①、②又は③ ①片面粘着テープ ②両面粘着テープ ③アルミニウムテープ
	厚さ	0.4mm以下
	使用方法	必要に応じて、熱膨張性シートの端部に用いる

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1に示す。

単位mm

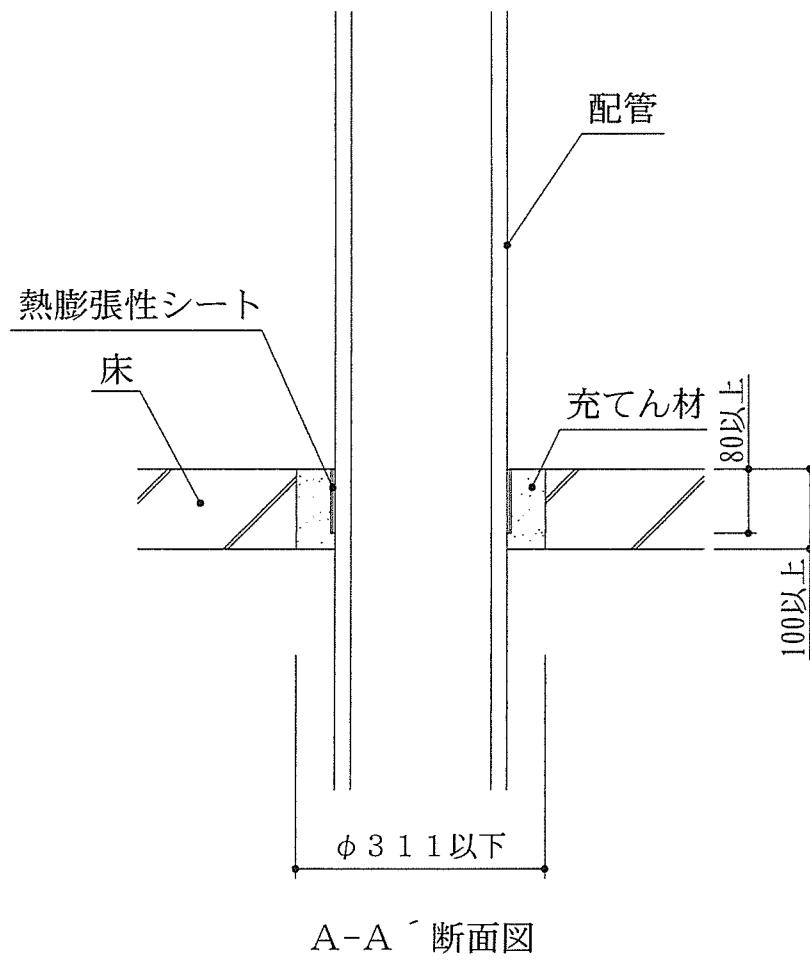
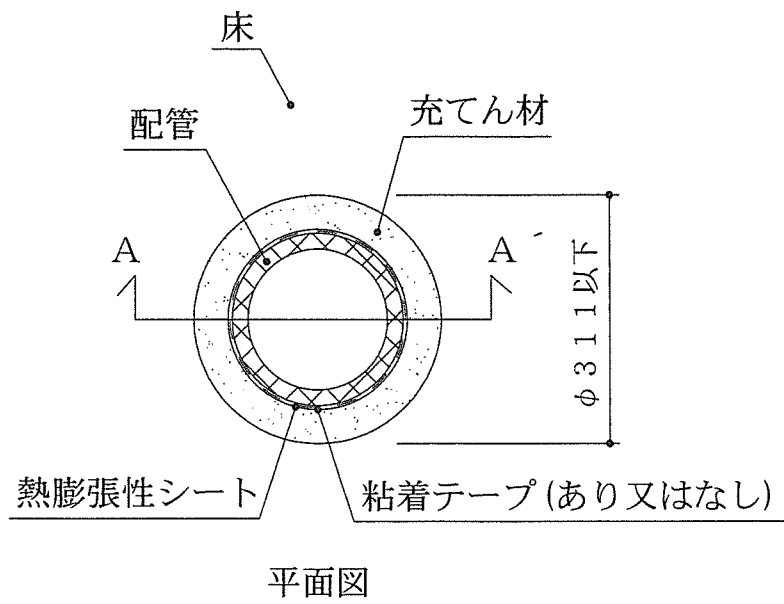


図1 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図2に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法(配管の断面積及び種類等)、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シートの墨出し

配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。

(3) 熱膨張性シートの巻付け

2周巻き付ける場合(複層)：

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを2周巻き付ける。熱膨張性シートは、巻き付け長さに応じて1周目を2分割以下、2周目を2分割以下とすることができる。熱膨張性シート巻付けの際、端と端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。また必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いてもよい。

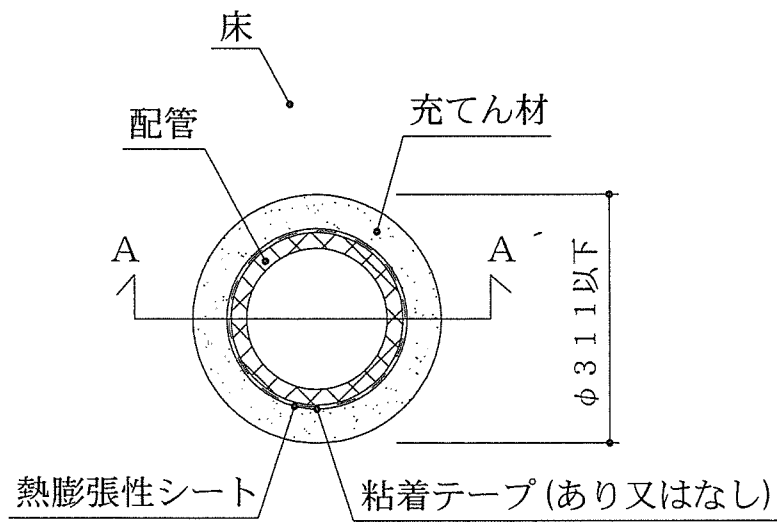
1周巻き付ける場合(単層)：

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを1周巻き付ける。熱膨張性シートは、巻き付け長さに応じて2分割以下とすることができる。熱膨張性シート巻付けの際、端と端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。また必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いてもよい。

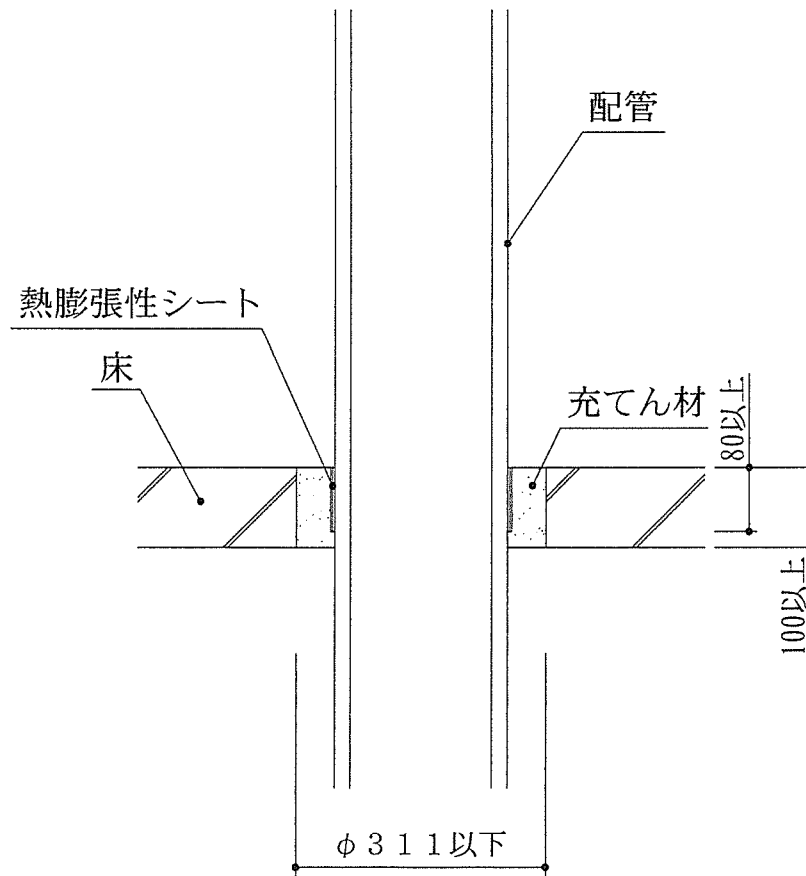
(4) 開口部の埋め戻し

配管を所定の位置に設置し、隙間を充填材(セメントモルタル)で密に充填する。

単位mm



平面図



A-A' 断面図

図2 施工図